

あざき 蓉子



概要

氏名 あざき 蓉子 (あざき ようこ)
職業 俳人
住所 玉名市立願寺 16-3
主な活動地 熊本県内、全国各地

(地域文化活動部門)

あざ君子氏は、昭和五十四年に俳句を始め、現在、俳誌「花組」を主宰し、玉名市を拠点に現代俳句界の第一人者として活躍している。

平成四年に設立した「風紋俳句会」を平成十年に「花組俳句会」と改め、同年に俳誌「花組」を創刊した。誌上では俳句ばかりでなく短歌、川柳、散文などの交流も試みており、全国に幾多の俳誌がある中、この「花組」は毎年俳句月刊誌に紹介されるなど高く評価され、熊本から全国に向けた文化発信を積極的に行い、本県文化の向上に貢献している。

これまでに「夢数へ」「ミロの鳥」「猿楽」の三冊の句集を出版したほか、角川書店などの俳句月刊誌、新聞、文芸誌などに俳句作品、評論、エッセイなどを執筆する傍ら、講談社の「新日本大歳時記」の季語解説を分担して執筆し、平成十一年には、角川書店刊「女性作家シリーズ二十四」の「現代詩歌集」に作品十六句が掲載され、注目を集めた。

また、最近では四国松山で行われる俳句甲子園や長崎原爆忌俳句大会などの選者やパネラー等を務めたほか、句会ライヴの開催や、講演、カルチャー教室、小学校等における俳句指導等、俳句の普及活動にも熱心に取り組み、熊本のみならず広く国内を東奔西走し、エネルギッシュに活躍している。

なお、これまで九州俳句賞、熊日文学賞等の賞を受賞し、平成十四年には、第五十七回現代俳句協会賞を受賞しており、今後ますますの活躍が期待されている。

これまでの活動歴

昭和五十四年 (一九七九年)	穴井太(北九州市在住)の「天籟通信」で俳句を始める
昭和六十三年 (一九八八年)	第十二回天籟通信賞受賞
平成二年 (一九九〇年)	第二十二回九州俳句賞受賞
平成三年 (一九九一年)	北九州市から熊本県玉名市に帰り、第一句集「夢数へ」(本阿弥書店)を上梓
平成四年 (一九九二年)	風紋俳句会始める
平成七年 (一九九五)	第二句集「ミロの鳥」(からんす堂)を上梓
平成八年 (一九九六年)	句集「ミロの鳥」で第三十七回熊日文学賞受賞
平成十年 (一九九八年)	風紋俳句会を花組俳句会に改め、俳誌「花組」を創刊 「からんす堂通信」七十七号に穴井太追悼文
平成十二年 (二〇〇〇年)	第三句集「猿楽」(富士見書房)を上梓 熊本日日新聞にエッセイ「うしろの正面」を一年間執筆
平成十三年 (二〇〇一年)	句集「猿楽」で第六回中新田俳句大賞スウエーデン賞受賞 熊本市民会館にてNHK学園俳句大会選者
平成十四年 (二〇〇二年)	福岡市において「船田」五十号記念「句会ライヴ九州」及びシンポジウム「俳句が減ぶとき」のパネラー
平成十四年 (二〇〇二年)	第五十七回現代俳句協会賞受賞 宮城県にて「中新田詩の噴火祭」シンポジウムのパネラー 熊日びぶれす会館にて「句会ライヴ」開催 愛媛県松山市にて「俳句甲子園」のパネラー